

# 難波田城だより

—難波田城公園・難波田城資料館ニュース—

平成21年9月1日発行  
編集・発行/富士見市立難波田城資料館  
**第41号**  
NEWS from NANBATAJYO

## まず、資料館へご連絡を!

～ガラクタが宝物へ変身～

平成10年に設置された開設準備室以来勤務された和田学芸員は4月に水子貝塚資料館へ異動されました。その時、我々市民学芸員に「いただきものに感謝をこめて」と題するメッセージを残されました。要旨は【難波田城公園は、「民俗資料」や「地元の皆さんや技術・技能保持者の方々の貴重な時間・労力・知識・経験」の『いただきもの』で成り立っている。もっと沢山の「もの」をいただけるような、愛され親しまれる施設となることが恩返しの一つ】というものです。

現在、「アーカイブス」が重要視されています。失われる文化や日々の生活等の痕跡を遺産として後世に残そうというものです。この受け皿が資料館(博物館施設)の役割の一つであると私は思っています。



箒つくりの様子 (ビデオ映像から)

富士見市はかつて「<sup>ほうき</sup>箒」の生産地でした。私は鶴瀬駅前「座敷箒」をつくる職人さん取材したビデオ作品を難波田城資料館と中央図書館に寄贈しました。昭和50年代後半に図書館が主催した「ビデオ作品づくり」講習会の成果品です。取材した昭和57(1982)年には、未だ何人か箒職人さんがいましたが、現在では皆無ではないかと思えます。また、市立第三保育所の西側一帯

市民学芸員 小森和雄

は、貝塚山と呼ばれ、古くは鉄刀が発見される等市内有数の遺跡でした。この発掘現場を昭和58年に取材し「貝塚山'83」という作品を講習会参加者で作りました。この作品は、水子貝塚資料館と図書館に寄贈しました。ビデオカメラが一般的でない時代であり、地方都市の発掘の一部の様子とはいえ動画として残っているというのは貴重なことではないかと思っています。(テープをDVD変換したのも寄贈しました。興味のある方は図書館でご覧下さい。)



発掘調査の様子 (ビデオ映像から)

また、先日は、東京新宿の高層街になる直前の写真を新宿区の博物館へ、世界初のカセットテープ型録音機(現在のカセットと規格が異なる)をNHK放送博物館へ寄贈してきました。

これらの「モノ」は、我が家では不要物として廃棄される寸前でした。同じ「モノ」でも扱う人によって価値は異なります。写真がデジタルになった現在、フィルム写真は廃棄される運命にあります。その中に貴重なものが無いとは言えないとして、捨てる前に下さいと呼びかけている人達もいます。皆さんにとっては「ガラクタ」であったとしても社会にとっては「宝物」かも知れません。捨てる前に資料館へ一報を。

## 難波田城公園 夏

難波田城公園の夏は、さまざまな催しが開かれる時季です。なかでも恒例の難波田城公園まつり（6月第一日曜日）は、近年その知名度も増し多くの来園者でにぎわいます。

祭りの当日、金子家の前庭では、芸能発表が行われ模擬店が並びます。その前に陣取った観客は、和太鼓を初め次々にくり出される出し物に熱い拍手を送ります。鉄砲隊の実演は、かまえた火縄銃が一斉にごう音を発し白煙が銃から立ち昇る様は圧巻です。市民もヨロイを着用し武者行列に参加します。

夏休みに入ると、小学生の宿泊体験やかかし作り、笹舟作り等、次から次へとイベントがくり広げられます。



古民家宿泊体験(8/8~8/9)  
五右衛門風呂入浴



難波田城公園まつり(6/7)  
和太鼓演奏



田んぼ体験隊  
かかし作り(8/1)



難波田城公園まつり  
火縄銃演武

おもしろ・なつかし体験 ②⑥

### 夏休み古民家宿泊体験

このコーナーは、難波田城公園での体験事業やイベントの紹介・報告・参加者の感想などを取り上げます。

8月8日～9日の古民家宿泊体験に市内の小学4年生～6年生男女 18人が参加しました。男子8人は市民学芸員2人と旧金子家住宅に、女子10人は市民学芸員3人と旧大澤家住宅に分かれて泊まりました。

女子が泊まった旧大澤家では奥座敷に6人、ナカノマに4人が寝ました。蚊取りマットのおかげで蚊の心配はなかったことが幸いでした。

“きもだめし”の後、公園内の開放的な家に寝るのは子どもたちにとって怖くて仕方がないようです。学校も学年も違う10人は気をまぎらすためか、おしゃべりが止ま

りませんでした。「12時過ぎたからおしゃべりはやめ!!」の市民学芸員Sさんの声に静かになり、それぞれ眠りについたようでした。最後の2人が寝たのは2時半でしたが、もう6時半には起きていました。

7時の起床後、身支度・後片付けと手際良くすませ、朝食の“鮭の網焼き”をつくるため七輪に火を起きました。焼き上がった鮭の良い匂いに、たまらずかぶりつく子どももいました。食欲は旺盛でおひつはみるみる空っぽになりました。

“古民家宿泊体験”は無事に終わり、世話係をした一同、胸をなでおろしました。



旧金子家の前で記念撮影

# 人の創った道具★人の使った道具

## 稲作の道具 3

### 稲刈り

現在は9月中旬から10月上旬が稲刈りの時期です。昭和30年代後半に開発された稲刈機バイ



写真1 バインダーでの稲刈り  
(昭和51年、市内)  
生涯学習課蔵

ンダー（写真1）が広く使われるようになるまでは、鎌で手刈りをしたので、期間は今よりも長く、8月の盆過ぎから彼岸までの間に早稲を刈り始め、10月末までには中手・晩生も刈り入れを終えま

した。鎌で根元から刈り取った稲は10～12束を一束にしてワラで結わえました。仕事量は田植と同様に、1日に2人で1反（約1,000㎡）を刈るのが普通でした。水はけの悪い湿田では、田下駄（田カンジキ、カンジキともいう）を履き、刈り取った稲は田舟（写真2）にのせて運びました。



写真2 田舟

束ねた稲は、竹や丸太で組んだ矢来（やらい）にかけ、およそ1週間自然乾燥させました。昭和40年代中頃に稲刈り・脱穀・ワラの裁断を1台でこなすコンバインが普及すると、矢来干しも少なくなりました。



写真3 千歯コキ

### 脱穀

干し終えた稲は家に運び、脱穀・<sup>もみ</sup>籾すり・<sup>うちしごと</sup>精米などの調整作業を行います。これらは内仕事と呼んでいました。穂から籾をはずす脱穀（稲こき）には、千歯コキ（コキともいう）が使われていました（写真3）。千歯コキは江戸時代中期に発明され、大正の初め頃まで使われましたが、

このコーナーでは、当資料館所蔵の資料を紹介します。今では使われなくなった道具からわたしたちの身近な歴史をひもといてみたいと思います。

その後、明治43年（1910）に発明された足踏み脱穀機（写真4）が普及しました。

脱穀を終えた籾は、<sup>ふるい</sup>篩にかけ、<sup>むしろ</sup>筵に掛けて2日ほど天日で乾かしました。



写真4 足踏み脱穀機

### 籾すり

乾燥した籾は、<sup>どがらす</sup>土唐臼（写真5）という土に木製の歯を打ち込んだ挽き臼で籾すりをした後、<sup>とうみ</sup>唐箕（写真6）にかけて米と籾殻とを選別しました。さらに米は<sup>まんごくどお</sup>万石通し（写真7）にかけ、殻がむけている玄米と籾のままのものを選り分けました。籾はまた籾すりをしました。



写真5 土唐臼



写真6 唐箕

### 精米

米は玄米のまま保存し、食べる分だけ少しづつ精米しました。精米には米搗き臼を使いました。米搗き臼は手で杵を持ってつくものと足踏みで杵を上下させる<sup>じがらうす</sup>地唐臼（ジンガラともいう）がありました。



写真7 万石通し

脱穀から精米までの作業は石油発動機により一変しました。昭和初期から発動機にベルトをかけて動かす動力式の脱穀機、籾すり機、精米機が次々に登場し、江戸時代以来の道具を納屋の奥に追いやりました。

稲を育て、ご飯として人びとの口に運ばれるまでには実にたくさんの道具と労力が必要だったのです。（「稲作の道具」は今回で終了です）

# \*\*\*秋のイベント予定\*\*\*

## 秋季企画展

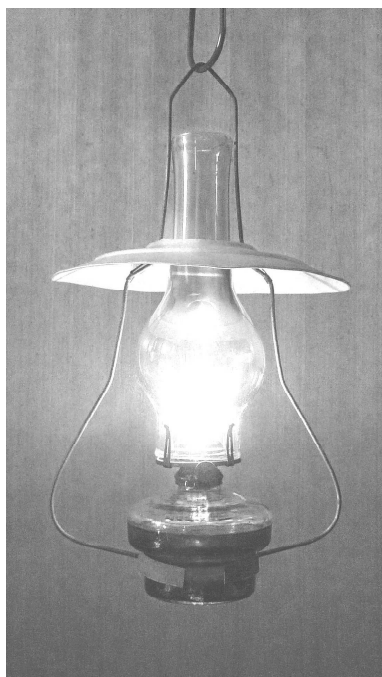
### 昔のあかり

富士見市と灯りの関係を  
当館収蔵資料を中心に探っ  
ていきます。

期間 10月3日(土)  
~12月23日(祝)

会場 特別展示室

内容 行灯、ランプ  
昔の電球、ほか



## 平成21年度穀蔵テーマ展示 木挽きの道具

木挽き(こびき)とは、原木から板を  
切り出す仕事と、それを生業とする人の  
ことです。昭和20年代中頃まで市内で使  
われていた大型の木挽きノコギリなど約  
10点を展示します。

期 間 9月17日(木)  
~平成22年8月

会 場 穀蔵展示室



## 秋の古民家コンサート

### チェロ ~バッハから民謡まで~

秋のやわらかな陽射しのもと、茅葺きの古民家で奏でられる  
チェロの響きを楽しみませんか。

日 時 10月25日(日) 午前11時~11時30分

演 奏 守屋 新さん(東京都交響楽団元チェロ奏者)

会 場 旧大澤家住宅

参加費 無 料

## 9月~12月のおもなイベント予定

竹かご教室 四海波かごをつくります。  
9月27日(日) 午前10時~午後3時

### ふるさと体験

十五夜のだんごづくり  
10月3日(土)  
わらそうりづくり  
10月31日(土)  
手打ちそばづくり  
11月14日(土)  
押し絵羽子板づくり  
12月5日(土)



ちょこっと体験 五右衛門風呂、トントン相撲など  
原則として、土・日・祝日の午後1時~3時

### ちょっ蔵市(毎月第4日曜日)

9月27日(日) おはぎ  
10月25日(日) ふかしいも  
11月22日(日) おつきりこみうどん

第13回ふるさと探訪 旧上福岡地域を歩きます。  
10月4日(日) 午前9時30分~午後3時

さつまいも掘り 10月25日(日) 午前10時~12時

※都合により日程・内容が変更になることもあります。  
※詳しい内容や募集については、『広報ふじみ』や富士  
見市公式ホームページをご覧ください。



編集・発行/富士見市立難波田城資料館

〒354-0004 埼玉県富士見市下南畑568-1 Tel. 049-253-4664 Fax. 049-253-4665  
富士見市公式ホームページ <http://www.city.fujimi.saitama.jp>

◆資料館 休 館 日/月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日(土曜日・日曜日を除く)、年末年始 開館時間/午前9時~午後5時  
◇公 園 休 園 日/なし 開園時間/午前9時~午後6時(4月~9月) 午前9時~午後5時(10月~3月)